

国際交流学科 3年

留学先：スペイン

サラマンカ大学

留学期間：2022年3月～2022年8月

私が留学中に特に意識していた点は以下の4つです。まだ起きてない未来について不安になりすぎないこと、自分を大切にすること、とにかくトライ&エラーをくりかえすこと、自分を知り、オリジナルの学習ペースを作ることです。私は精神的な土台が成り立ったうえで、学習が効率よく出来ると信じています。

まず、精神面についてです。最初の一か月は自分の気持ちよりも留学に来た責任感や周りとの比較からストレスで39度の高熱を出しました。せっかく留学に来ているのにスペイン語もそこそこで、何も身につかなかっただろう、他の留学生は、毎日のように違う学生とバーやレストランで交流し、毎週のように旅行に出かけているのに生活するので精一杯な私は、孤立せずに周りや打ち解けることが出来るのだろうか、旅行に行ったとしても言葉の通じない世界で目的地にたどり着くことが出来るのだろうか、そんな不安が毎日のように頭によぎっていました。もう2度と苦しい思いをして貴重な時間を無駄にしたいと焦り、何が原因であったか吟味し、看病してくれた先輩や同じクラスの日本人の先輩から話を聞く中で、こんなことを私に話してくれました。そんなに不安がらずとも大抵のことは何とかなる。スペインに一人来ている時点で以前の自分とは違う経験をして違うことを考えているだけでも成長している。そこから、留学生はこうあるべきだという固定観念を取り払い焦ることをやめました。そうすることで、自己主張の強い人や集団が好きな人、あるいは内向的だけど旅行好きな人などいろんなタイプの人間とそれぞれの楽しみ方があることに気づきました。そして自分がストレスに感じる状況や何が得意かを考えた結果、自分は集団よりも限られた人数で深い話をすること、言語学習において誰かのものまねをすることが得意であると気づきました。

次に学習面についてです。単語やフレーズは先生や友達が言ったことや、街を歩いていて見聞きした言葉を小さいメモ帳にまとめました。他の学生が話していた文化について自分だったらどう説明できるのか考えて、聞いたフレーズや単語をそのまま真似てみたことで、むやみやたらに会話して落ち込むよりも自分らしく楽しみながら学んでいけることを実感しました。そうやって、インプットとアウトプットを50対50で行うことを意識し、なによりも自分が楽しむことを大切にしていました。それが結果的に好きな人、得意な環境を引き寄せるのだと思います。私の場合は、教授の奥さんが家に私を招いてくれて、直々に料理を教わりました。また、現地で出会ったスペイン人の友達とそのお母さんが車で地元を案内してくれました。結果的に作られた環境ではなく、自分らしい文化の学び方が出来たと思います。